

1 (仮称)ヒグマ防除重点地区とは

- 森林ゾーンのうち、市民の利用が多い場所であり、ヒグマの定着や繁殖を静観したくない場所
- 藻岩山～旭山記念公園周辺～大倉山・三角山エリア

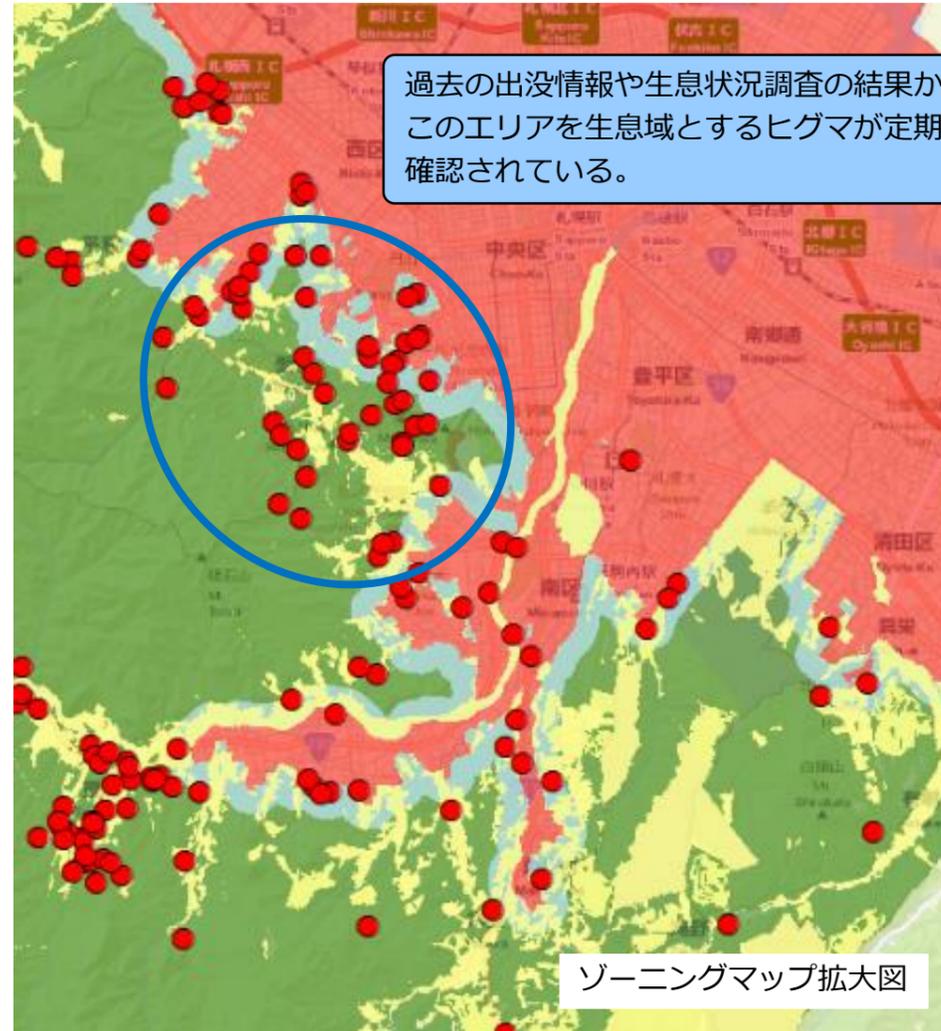
「(仮称)ヒグマ防除重点地区」の設定

取組(案)

- ハンターによる見回り（人材育成も兼ねて）
- ドローン、ベアドッグ等を活用した探索・パトロール
- 通り道となるような場所へのセンサーカメラの設置
- 場所を選定し、市街地との境にフェンスや電気柵の設置 など

期待できる効果

- モニタリングの強化
 - ・ 探索によるヒグマの移動経路の推定
 - ・ 個体識別用のサンプリング など
- 市街地への侵入抑制
- (結果的に) 軽い追い払いにもなれば



具体的な進め方

効果的な手法・設置場所等の検討

試行・検証

継続的な実施

必要に応じ他地区への展開

次期計画？
(2023～2027年度)

2 2023年度以降の取組案

★今後検討する事業

分野別、取組名	方向性
①モニタリング	
生息状況調査	継続して実施
★市街地近郊の山林の探索	ハンターによる定期的な見回り、ドローン探索、センサーカメラによる観測により市街地近郊に生息するヒグマの行動を感知し、追い払いを含めた対策の早期実施につなげる
②侵入抑制策（電気柵、緑地管理等）	
電気柵普及事業（貸出・購入補助等）	継続して実施、適宜制度の見直しを実施
緑地管理（草刈り・放棄果樹伐採）	継続して実施、地域を拡大 「森林整備」についても関係部署と連携し検討
★侵入ルートへの対策	市街地への侵入ルートとなる場所を特定し、フェンスや電気柵による侵入抑制を図る

分野別、取組名	方向性
③普及啓発、計画改定	
フォーラム等市民向けイベント	継続して実施
ヒグマ講座（小中学校・高校）	継続して実施。R4年度より全小中学校に案内拡大
★ヒグマ対策認証制度	キャンプ場や公園、果樹園など、一定の基準のヒグマ対策を実施している郊外で市民が多く利用するような施設を対象に認証し、HP等でPRしていく
④出沒対応強化	
★新たなツールの導入検討	ヒグマの痕跡探索や移動経路の特定、調査時の安全確保等のため、ベアドッグをはじめとするツールを検討する
★若手ハンターの育成	捕獲対応時に対応できるハンターが不足するおそれがあり、ヒグマ探索等の技術の伝承等をサポートする